

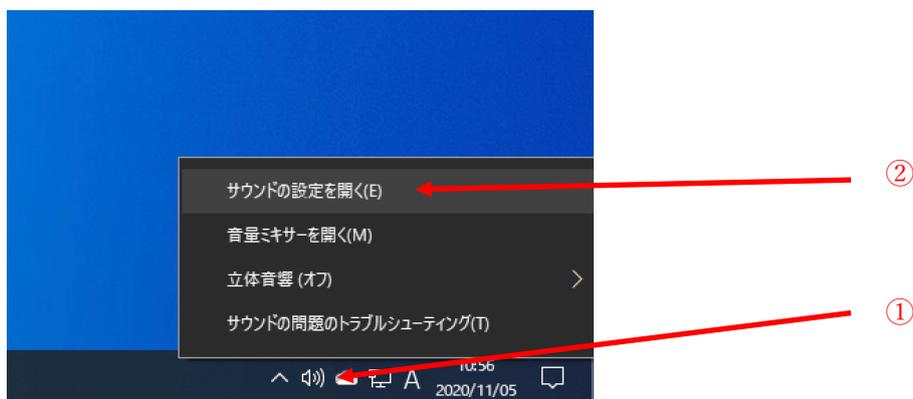
配信用発表データ作成マニュアル

Windows PowerPoint
2020.12

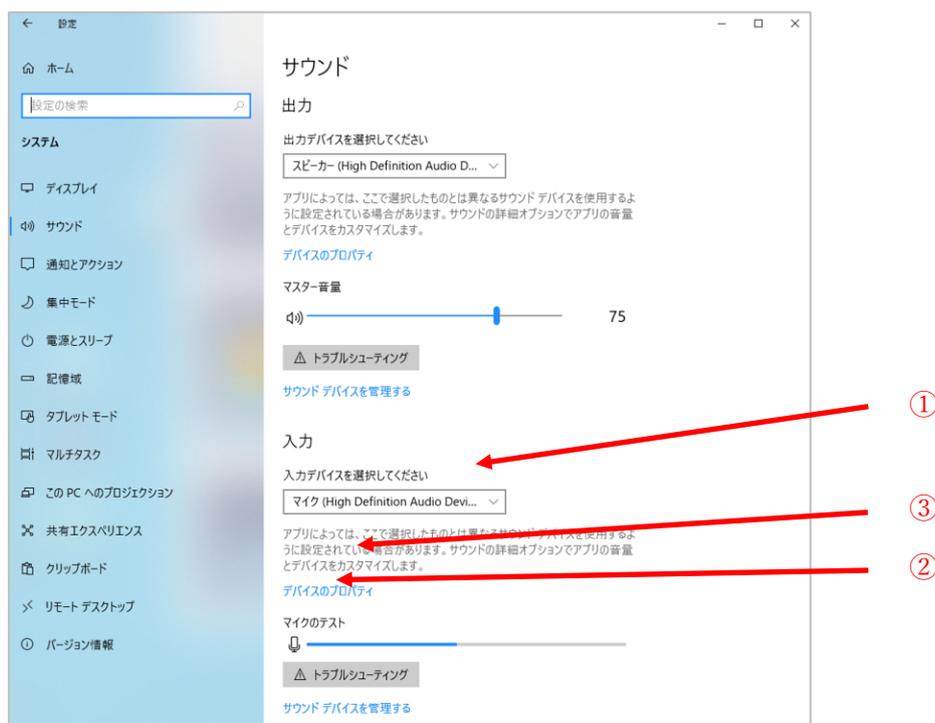
準備編

- ・ 音声記録用のマイク（PC 内蔵のマイクも利用できます）を準備してください
- ・ PowerPoint（ver.2016 以降推奨）でスライドの準備をお願いします
- ・ スライドは 16:9 で作成してください
- ・ スライド内に動画を利用される場合は、動画を埋め込んでください

マイクの動作確認

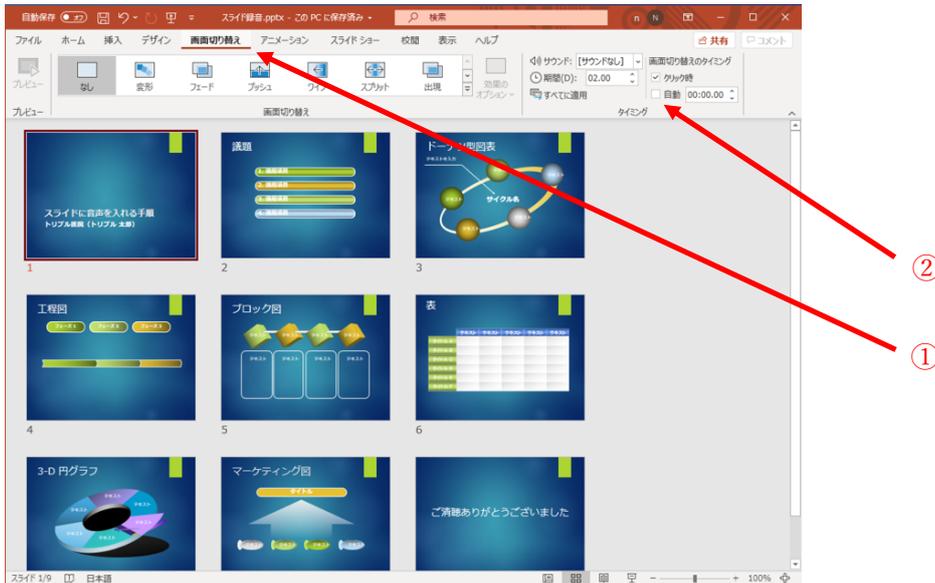


タスクバーの音量マーク①を右クリックし、サウンドの設定②を開きます

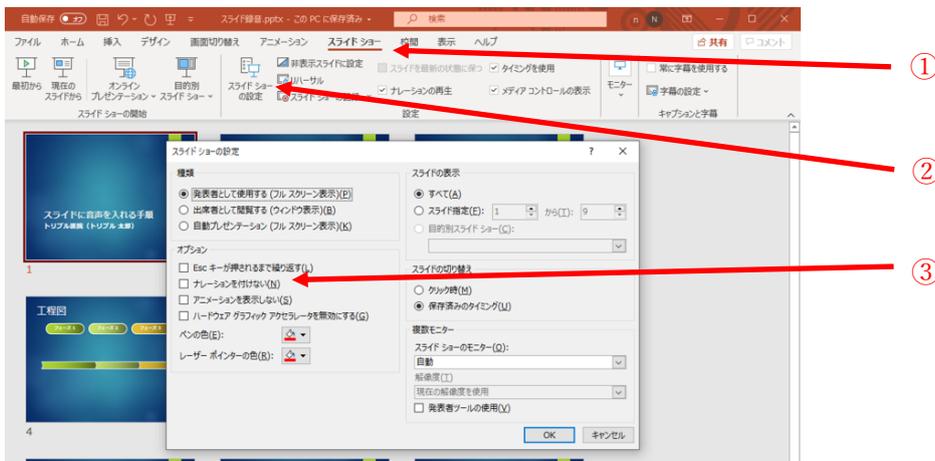


利用しようとしているマイク①が選択されており、マイクのテスト②のレベルゲージが反応していることを確認してください。レベルが低い場合は、デバイスのプロパティから調整できます。

準備（スライドの確認）



録音するスライドを開き、画面切り替えタブ①から、全てのスライドに切り替えのタイミング②が設定されていないことを確認してください。



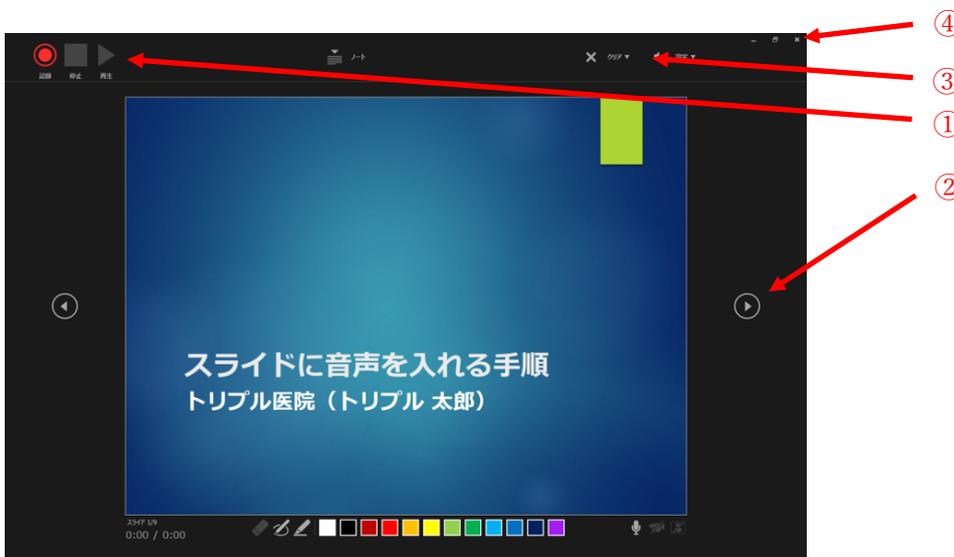
スライドショータブを選択後①、スライドショーの設定②を開き、ナレーションを付けない③のチェックが外れていることを確認して下さい。

以上を確認後、録音を開始します。

録音の開始



録音するスライドを開き、スライドショータブを選択後①、スライドショーの記録／先頭から記録..②を選択します。

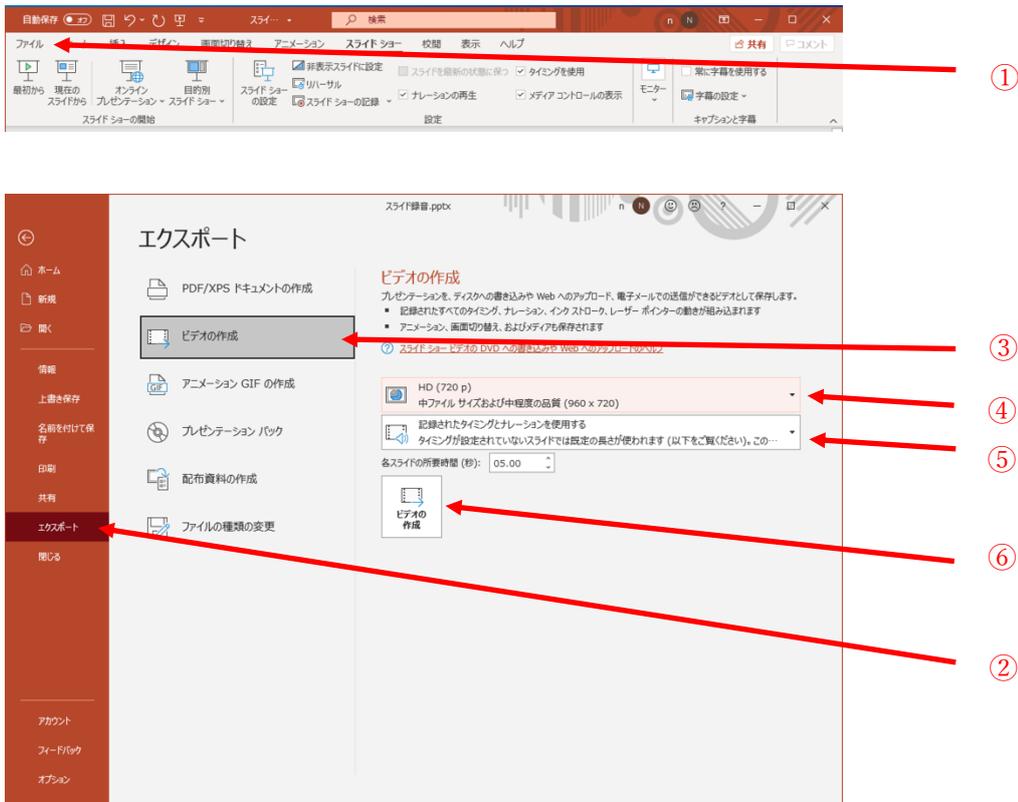


録音モードに画面が切り替わった後、記録ボタン①をクリックすることで、録音が始まります。次ページへ移動するボタン②をクリックすると次ページの録音へと切り替わります。

記録は、適宜①のボタン群から一時停止、停止からの確認再生が可能です。録音をやり直したい場合は、クリアボタン③から録音をクリアすることができます。

全てのスライドの録音が終了したら、停止ボタンを押し、esc キーまたは画面右上の×ボタン④で録音モードを終了し、データを保存してください。

動画データの書き出し



ファイルタブ①を選択し、エクスポートメニュー②からビデオの作成③を選択します。

作成時の設定は、ファイルの品質 HD(720p)中ファイルサイズ④を選択、記録されたタイミングとナレーションを使用するを選択⑤し、ビデオの作成をクリックしてください。

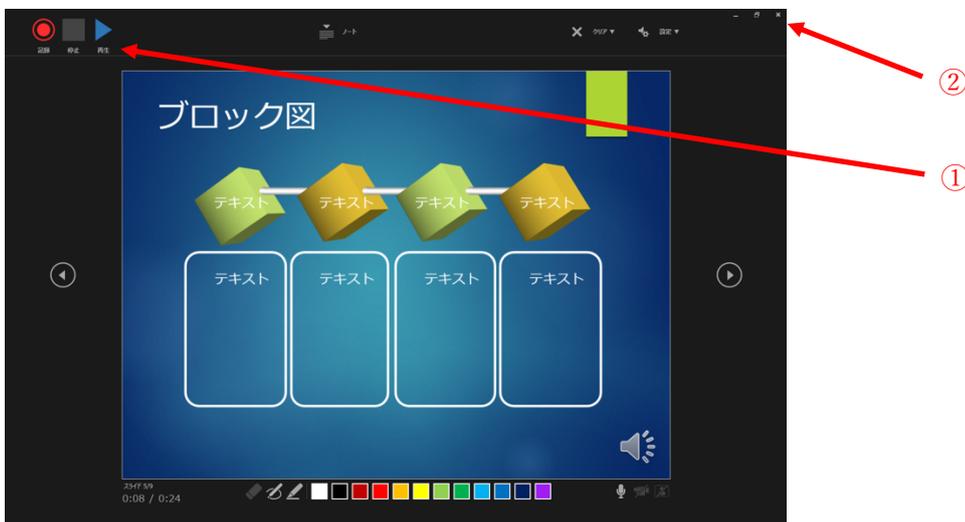
以上で動画の作成は完了です。

録音の修正



特定のスライドの録音をやり直すことが可能です。

録音するスライドを開き、録音をやり直したいスライドを選択し、スライドショーの記録／現在のスライドから記録..①を選択します。



録音が終了したら、停止ボタン①を押し、esc キーまたは画面右上の×ボタン②で録音モードを終了します。